

業績リスト(過去3年)

* (1. 著書	2. 論文)	3. 訳書	4. 研究ノート	5. 書評
6. 調査報告書	7. その他文筆活動	8. 作品発表	9. 学会発表	10. 講義・講演
11. テレビ・ラジオ等出演	12. 公的活動	13. 研究助成採択	14. その他	

* (1. 著書 2. 論文)は別途掲載

坂下 英淑 (さかした ひでとし) [心理学科 助教]

2023年

12. 公的活動

・ 摂津市指定管理者選定委員会委員

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
中川裕美		小規模法人の健康経営における阻害要因の解明および支援プログラムの開発	2023～ 2025年度	351万円	坂下英淑 大野太郎
概 要 (薫英研究費・無)					
<p>【科研費基盤研究(C)】本研究では、小規模法人の健康経営推進を効果的に支援するアプローチを明確化する。そのために、まず認定要件に基づき小規模法人の健康経営推進を阻害する要因を経営的側面、心理的側面などから調査し、探索的に分析する。次に、その分析結果を基に小規模法人の健康経営推進を支援するプログラムを作成し、本研究の対象となる小規模法人にプログラムを適用する。プログラム適用の前では対象法人における認定要件の達成項目、労働生産性、従業員の組織帰属意識などを測定し、比較分析を行うことでプログラムの効果を検証する。</p>					

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
坂下英淑		本学学生の中退予防、自殺予防に資するピアサポートの実践	2023年度	27.8973万円	中村千珠 堤俊彦 大野太郎
概 要 (薫英研究費・有)					
<p>大学生の中退には様々な理由が考えられるが、就学意欲の低下やメンタルヘルス不調の問題は看過できないものである。また、メンタルヘルス不調が顕在化せずとも、大学での友人関係、授業や課題への取り組みに対する困難がある場合には、メンタルヘルス不調や中退に至る可能性がある。そこで、本研究では大学生活初期での適応につまずきやすい時期でもある大学1年生を対象としたメンタルヘルス支援について検討することを目的とする。そして、同じような立場の人が支え合うピアサポート活動が大学生のメンタルヘルス支援において有用であるかどうかを検討する。また、公認心理師を目指す学生がサポートする側 (ピアサポーター) の実践経験を積むことで、援助者としてどのように成長するのかについても合わせて検討する。</p>					

2022年

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
本岡寛子		テレワーク労働者の精神的健康保持・増進を目的としたオンラインプログラムの効果	2022～ 2025年度	351万円	長見まき子 佐藤望 坂下英淑
	概 要 (薫英研究費・無)				
	【科研費基盤研究(C)】2020年4～5月にCOVID-19の拡大によって初めて緊急事態宣言が発令された後、テレワークの実施率が急激に増えた。しかし「勤務時間とそれ以外の時間の区別がつけづらい」、「上司、同僚とのコミュニケーションが不足する」等の問題が浮上し、「職業性ストレス」や「寂しさや疎外感を感じる気持ち」等のメンタルヘルスへの影響も懸念され、オフィスワークに戻す動きがみられている。ウィズコロナ・アフターコロナ時代において、働き方としてのテレワークを定着するために、本研究では、「テレワーク労働者に特化した精神的健康保持・増進のためのオンラインプログラム」を開発し、その効果検証を行う。				